

作成日 2026年1月14日(水)

対象 5歳児 年長児

作成者 進藤早苗

墨で表現をしよう

○ねらい 書初めという言葉の意味を知ったり、筆を使い墨で書いたり遊ぶ楽しさを感じる。



振り返り

1月、年長児は園長先生と一緒に墨で遊びます。書初めという言葉の意味や、墨で書いた絵や文字を見せてもらってから活動を始めました。保育者が、「墨を入れていくよ」と子ども達のペットボトルに墨をいれていくと「真っ黒!」「これはタコのすみ?」と感じたことを言葉に出しあいながら、喜ぶ姿が見られました。

書いていく中で、半紙の薄さや、質感にも気づきながら、何枚も何枚も夢中で名前や好きな絵を書きました。

白い半紙と黒い墨という2色だけの表現で、「太く書いてみた」「墨をちょっとだけつけてみたけど、滲んでいったんだ」と、子ども達なりの工夫や発見が見られました。

半紙に墨が染み込んで行く様子をじっと見つめたり、ぽたっと落ちていく墨を見たりと、様々な形や表現に変わっていく面白さを感じていました。

活動の後の片付けの時に保育者が、「墨が染み込んだ筆は、なかなか落ちにくいよ」「また次の年長さんになった子が気持ち良く使えるようにしようね」と伝えたところ、「墨がまだでてくる」といいながらも、最後まで丁寧に洗っていました。途中で投げ出さず、自分の出来ることや、綺麗に洗おうという気持ちで、次に使う友達のことを考えていることがよく分かりました。これからも、どんな時も片付けまでしっかりと大切さを一緒に感じていけるようなかかわりを続けていきたいです。

出来上がった作品は、茶道参観で展示します。

(健康な心と体、豊かな感性と表現、数量・図形、文字等への関心・感覚、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、自立心)